

塩野直道先生顕彰会から関連資料を寄贈していただきました

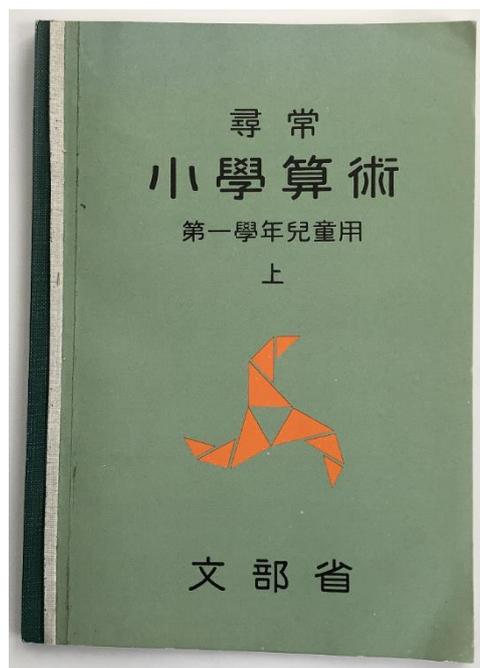
昭和初期に算数の国定教科書の編集に関わった数学教育者である 塩野直道氏（1898～1969年）の関連資料約100点を、塩野直道先生顕彰会〔会長：今岡登氏〕から寄贈していただきました。【写真1・2】のとおり、卒業生会館の有朋館1階に常設展示いたしましたので、生徒や保護者の方だけでなく、出雲市民の皆様も是非ご覧にお越しください。



【写真1・2】塩野直道氏関連資料の常設展示（有朋館1階）

塩野直道氏は、1898年（明治31年）簸川郡園村（出雲市東園町）に生まれ、杵築中学校（大社高等学校）を1916年（大正5年）に卒業しました。進学した東京帝国大学（東京大学）を卒業し、旧制松本高等学校（信州大学）の教授をつとめた後、1924年（大正13年）から文部省（文部科学省）図書監修官となり、算数・数学の教科書編集に深く関わりました。

【写真3】は「緑表紙」と呼ばれた『尋常小学算術』の教科書で、玉入れやおはじきなどの遊びをテーマにしたイラスト入りの問題があり、子どもが算数に関心を持つよう工夫されたもので国際的に高く評価されました。また、四つ珠そろばんの普及者としても有名です。



【写真3】緑表紙の尋常小学算術教科書

2018年（平成30年）、島根県内の教諭OBら9名が「塩野直道先生顕彰会」を設立され、教科書、著書、家族から提供された肖像写真のほか、塩野直道氏が学んだ出雲市立長浜小学校の児童が描いた紙芝居を基に足跡をまとめたDVDを、本校へ寄贈していただきました。

【写真4】は塩野直道氏の活躍をまとめたパネル、【写真5】は塩野直道氏顕彰の動きをまとめた年表で、どちらも有朋館1階に展示してあります。

【写真5】塩野直道氏顕彰の動きをまとめた年表

塩野直道先生顕彰の動き

西暦	和暦	月日	できごと
1970	45	11/15	第5回世界珠算会議にて珠算教育発展の功により奨状・奨章を受ける
1982	57	5/10	『随流導流 一塩野直道先生の業績と思い出一』啓林館 発行
1989	平成 元	10/9	全国珠算教育連盟により顕彰碑が長浜小に建てられ、記念誌『随流導流』も発行
1994	6	4/19	曾田寛 編『塩野直道先生略伝』出雲市立図書館 発行
2005	17	12月	「塩野直道関係著作展」を京都教育大学附属図書館で開催 目録発行される
2006	18	1月	「ながはま故郷かるた」で取り上げられる
2007	19	9/5	松宮哲夫『伝説の算数教科書〈緑表紙〉一塩野直道の考えたこと』岩波書店 発行
		10/10	復刻版『尋常小学算術』啓林館 発行
2008	20	2/16	島根県算数数学教育懇話会 第1回総会（松江市） 松宮哲夫「緑表紙・塩野直道―伝えたい志」を講演
2011	23	10月	紙芝居「塩野直道物語」を長浜小の「ながはま故郷かるたプロジェクト」で製作
2013	25		第1回 塩野直道記念「算教・数学の自由研究」作品コンクールが開催される
2015	27	12/1	松宮哲夫『数理思想に基づく緑表紙に至る道―1871～1943―』啓林館 発行
2017	29	6/21～ 10/16	出雲弥生の森博物館がギャラリー展「伝説の教科書を作った郷土の偉人～塩野直道物語～」を開催
2018	30	7/12	塩野直道先生顕彰会（代表 今岡 登） 発足
		11/12～ 翌年 1/10	出雲弥生の森博物館がパネル展「伝説の教科書を作った郷土の偉人～塩野直道物語～」を長浜コミュニティセンター（出雲市長浜町）で開催
		12/2	塩野直道先生顕彰会が「塩野直道先生を顕彰する講演会」を長浜コミュニティセンターで開催
2019	令和 元	6/20～ 8/27	理数教育研究所が「金沢高等師範第2代校長塩野直道～伝説の教科書緑表紙～」展を金沢大学資料館で開催
		7/1～ 8/31	出雲弥生の森博物館がパネル展「没後50年 塩野直道 ～伝説の教科書を作った郷土の偉人～」をイオンモール出雲で開催
		11/6	塩野直道先生顕彰会が大社高校へ関係資料を寄贈